



お知らせ

記者発表資料
配布日

平成29年 9月19日

■同時発表先：三次記者クラブ
中国新聞社吉田支局

平成29年9月17日台風18号における 土師ダムの効果について【速報】

江の川の土師ダム流域では、9月17日9時頃から17日24時にかけて、台風18号の影響により強い雨が降り、土師ダム上流で降り始めからの流域平均累加雨量105mmを記録しました。

このため、土師ダムではダムへの流入量が最大で毎秒約450m³に達し、このとき毎秒約220m³の水をダムに溜め込みました。

この結果、下流の安芸高田市吉田町付近で、水位を約0.58m低減する効果があったと推定されます。

別紙—1では、今回の洪水について、降雨の状況やダムの操作について説明しています。

<問い合わせ先>

国土交通省 土師ダム管理所 0826-52-2455 (代表)

広島県安芸高田市八千代町土師 369-24

【担当】管理所長 犬山 正 (内線201)

【担当】専門官 坂本 和雄 (内線330)

土師ダムにおける防災操作による治水効果(広島県 江の川)

☆吉田(ダム下流10km)地点の水位を低下させました！！

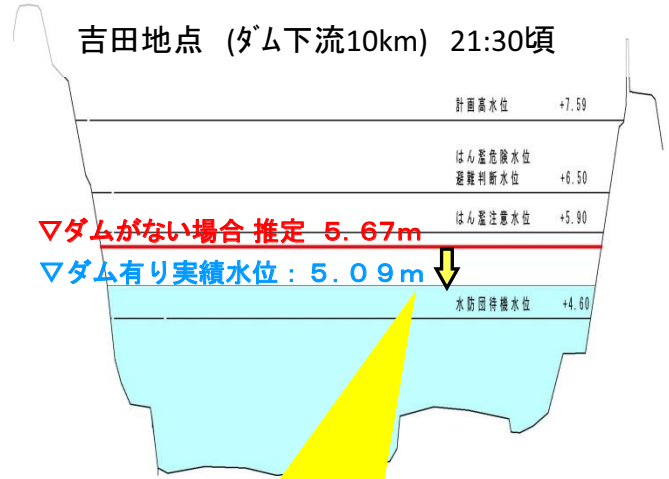
○土師ダム上流の流域平均雨量

9月17日9時～24時で、累加雨量105mmを記録。

○土師ダムにより防災操作を行い、最大流入量毎秒446m³のうち毎秒224m³をダムに貯め、下流の流量を低減した結果、吉田水位観測所の最高水位を0.58m下げたものと推定されます。



土師ダム位置図



水位低下0.58m

貯水位で、約3m上昇！
450万m³貯留
(東京ドーム約3.6杯分)



降り始めの貯水池の様子
(EL=240.8m付近)



9月17日～18日の防災操作後
(EL=243.7m)

※数値は速報値であり、今後変わることがあります。